

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

女性生殖器を対象とする脂肪抑制併用 three-dimensional T1 weighted image (3D T1WI) における呼吸停止法が消化管蠕動アーチファクトに与える影響に関する研究

1. 研究の対象

2024年3月11日 から 2024年5月6日 までの間に、
当院の産婦人科で MRI 検査を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2024年12月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：女性生殖器疾患に対する MRI 撮像において、ルーチン撮像の一部である脂肪抑制併用 3D T1 weighted image(T1WI)を撮像する際に、一般的に「息を吐いて止める」呼吸停止法で撮像が行われている。しかし、この撮像方法では、周囲の消化管蠕動により、臨床画像が明瞭に描出されないことを経験した。我々は「息を吸って止める」呼吸停止法で撮像することで周囲の消化管蠕動による影響を最小限に抑えられるかを解明することを目的とした研究を実施するため、当院において女性生殖器を対象とする MRI 検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、「息を吐いて止める」呼吸停止法で撮像した際に消化管蠕動による影響が出現した症例に対して、消化管蠕動による影響を抑制する目的として「息を吸って止める」呼吸停止法で追加撮像しているデータを

選び、消化管蠕動による画像への影響に関する分析を行い、出現する仕組みについて調べます。

方法：この研究に使用する情報として、すでに保存されている項目4に記載するMRI画像等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・情報：検査目的、年齢、性別、検査結果（MRI画像）
- ・試料：なし

5. 情報の提供先・提供方法

- ・該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5164）

研究責任者 診療技術部 放射線技術科 係長 大塚 勇平

問い合わせ担当者 診療技術部 放射線技術科 係長 大塚 勇平